

1. 科目名（単位数）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（4単位）	3. 科目番号	SSMP2157 SBMP2157 SSMP3157 PSMP2457
2. 授業担当教員	柘植 将介		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	ソーシャルワークの基盤と専門職		
7. 講義概要	本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。 特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）と、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。		
8. 学習目標	下記の目標を達成することが期待される 1. 人と環境との相互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	予習や探求的な課題に積極的に取り組み、主体的な学習によって理解を確かにすると共に問題解決力を培うように努めること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『ソーシャルワークの理論と方法（共通科目） 最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座共通科目⑫』中央法規出版、2021年1月		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 ・5つの目標について理解し、説明することができたか。（知識・理解） ・5つの目標について思考し、考察を深めることができたか。（思考・判断・実践） ・5つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。（関心・意欲・態度） ○評定の方法 レポート課題（25％）定期試験（50％）、受講態度（25％）による総合的評価		
12. 受講生へのメッセージ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰはこれから社会福祉士・精神保健福祉士の専門職になるために必要な理論や実践技術修得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成などへの積極的な取り組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。 授業ごとに行うコメントカード等の提出での出席確認も行うため、必ず提出してください。 希望者には授業内容に該当する国家試験の過去問を配布する。		
13. オフィスアワー	授業内（初回授業）に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業内容と進め方について、第1章第1節ソーシャルワーカーが学ぶ理論	事前学習	教科書の第1章（pp.1～9）を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第2回	第1章第2.3.4節システム論、生体学理論、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	事前学習	教科書の第1章（pp.10～27）を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第3回	第1章第5.6節ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、ソーシャルワークの目標と展開過程	事前学習	教科書の第1章（pp.28～41）を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第4回	第2章第1.2節ソーシャルワークの過程ケースの発見とエンゲージメント	事前学習	教科書の第2章（pp.42～57）を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。

第5回	第3章第1.2.3節ソーシャルワークの過程アセスメント	事前学習	教科書の第3章 (pp. 58～75) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第6回	第4章第1.2.3節ソーシャルワークの過程プランニング	事前学習	教科書の第6章 (pp. 76～93) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第7回	第5章第1.2.3節ソーシャルワークの過程支援の実施とモニタリング	事前学習	教科書の第5章 (pp. 94～105) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第8回	第6章第1.2.3節ソーシャルワークの過程支援の終結と結果評価、アフターケア	事前学習	教科書の第6章 (pp. 106～119) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第9回	中間まとめ1	事前学習	教科書の第1章～第6章を読み、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
第10回	第7章第1.2節ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方、ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ①	事前学習	教科書の第7章 (pp. 120～127) を読み、理解を進めておく
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第11回	第7章第2節ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ②	事前学習	教科書の第3章 (pp. 128～138) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第12回	第7章第2節ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ③	事前学習	教科書の第4章 (pp. 138～155) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第13回	第7章第2節ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ④	事前学習	教科書の第7章 (pp. 156～185) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第14回	第8章第1.2節ソーシャルワークの面接	事前学習	教科書の第8章 (pp. 186～209) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第15回	第9章第1.2.3節ソーシャルワークの記録	事前学習	教科書の第9章 (pp. 210～239) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第16回	第10章第1.2節ケアマネジメント①	事前学習	教科書の第10章 (pp. 240～255) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第17回	第10章第1.2節ケアマネジメント②	事前学習	教科書の第10章 (pp. 240～255) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第18回	第11章グループを活用した支援①	事前学習	教科書の第8章 (pp. 161～173) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第19回	第11章グループを活用した支援②	事前学習	教科書の第9章 (pp. 175～198) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第20回	中間まとめ2	事前学習	教科書の第7章～第11章を読み、重要な点の再確認をしておく
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。

第 2 1 回	第 12 章第 1.2 節コミュニティワーク 意義と目的、展開①	事前学習	教科書の第 12 章 (pp. 280～294) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 2 回	第 12 章第 1.2 節コミュニティワーク 意義と目的、展開②	事前学習	教科書の第 12 章 (pp. 280～294) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
第 2 3 回	第 12 章第 3 章コミュニティワークの理論的系譜とモデル	事前学習	教科書の第 12 章 (pp. 295～301) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 4 回	第 13 章第 1.2 節ソーシャルアドミニストレーション 概念とその意義、組織介入・組織改善の実践モデル	事前学習	教科書の第 13 章 (pp. 302～310) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 5 回	第 13 章第 3 章ソーシャルアドミニストレーション組織運営における財源の確保	事前学習	教科書の第 13 章 (pp. 311～317) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 6 回	第 14 章第 1.2 節ソーシャルアクション①	事前学習	教科書の第 14 章 (pp. 318～339) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 7 回	第 14 章第 1.2 節ソーシャルアクション①	事前学習	教科書の 14 章 (pp. 318～339) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 8 回	第 15 章第 1 節スーパービジョンとコンサルテーション、 スーパービジョンの意義、目的、方法	事前学習	教科書の第 15 章 (pp. 340～350) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 9 回	第 15 章第 2 節スーパービジョンとコンサルテーション、 コンサルテーションの意義、目的、方法	事前学習	教科書の第 15 章 (pp. 351～354) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 3 0 回	総まとめ	事前学習	教科書の第 1 章～15 章を読み、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
期末試験			